

隣に立って、手を取り合って

様々な活動が始まりました。委員会では3年生が1年生に仕事を教える姿が見られました。ある委員会では、1～3年生でグループを組み1年生に教えながら、目標や活動について話し合ったところもありました。中央委員会でも、今年度から第1回の委員会では生徒会が役職決めを進行したり、タブレットを活用して各委員会の報告を始めたりするなど、ひばり中で様々な改革が始まっています。このように、「後輩に背中を見せよう」と言われてきた皆さんの力がどんどん発揮されてきている場面が増えてきたと思います。



先週、1年生と3年生の合同体育がありました。各グループに別れて、ひばりランを3年生が教える授業でしたが、あるグループはやって見せ、あるグループは一緒にやりながら...と様々な方法で1年生に伝えようとしていました。方法は違えども、どのグループにも共通していたのは「心を隣に」ということだったと思います。リーダーなど先頭に立つ人に大切なことは、上から物事を言うのではなく、隣に立って一緒に成し遂げようとする心なのではないでしょうか。この合同体育では、相手の立場に立ちながらどうしたら1年生によく伝わるかという皆さんの誠実な思いが伝わってきました。また、ひばりランの大きなかけ声は、1年生にとって目標となるくらいの迫力だったのではないのでしょうか。運動会がますます楽しみになってきました。

さて、そんな運動会についてですが、先日開かれた修学旅行のオリエンテーションで、実行委員長である入倉実子さんは次のように言っていました。



これからある、運動会や合唱祭では全校生徒に堂々とした姿を見せなくてはなりません。そのためにも、この修学旅行は青学年として成功させたいです。これまでの課題から、青学年が成長するために必要なことは「配慮すること」です。遠慮ではなく、自主性をもったうえで周りも見るようにする、周りの人に任せず自発的に行動するといった配慮をできるように目指していきましょう。

(実行委員長の話の要約です。)

修学旅行と運動会、その他行事は一見それぞれが独立しているように見えますが、実のところ深く関わっています。それは、らせん階段のようなものかもしれません。一つのことが積み重なって次のことにつながっているのですから、是非委員長の話していたように一丸となって修学旅行を成功させましょう。そして、行事だけ頑張るといふことにならないように、日常生活も同じように深く関わっていると思ってください。日々、応援される人でありましょう。



学年の先生のつづき

～今週は遠藤先生より～

1年ぶりに青学年に戻ってまいりました。しばらく離れた場所から見守らせていただきましたが、中学校生活最後の年に、また一緒に過ごせることがとても嬉しいです。朝の登校指導から始まりましたが、8時20分を越えると自分たちで自然と静かに準備し、読書へ向かう姿には、最上級生としての成長が感じられます。

授業ではもう少しで、合唱の準備に取り組む時期になります。学年課題曲『群青』は、もともと卒業式で卒業生が歌う式歌として作られました。「夢」や「希望」を見つけにくい状況でも、友人たちと過ごした大切な思い出は消えないと、身近な言葉で歌っています。

共に過ごす日々もあと1年。心に残る思い出のひとつにできるように、全力で応援します。どうぞよろしくお願いたします。

<来週の予定>

日	曜	給食	1	2	3	4	5	6	学校行事等
24	月	○	総	○	○	学	○	○	生徒会認証式(朝礼)
25	火	○	○	○	○	○	○	○	腎臓検査一次追加
26	水	○	○	○	○	○	総	—	
27	木	○	○	○	○	○	○	総	内科検診
28	金	○	○	○	○	○	○	総	離任式
29	土		—	—	—	—	—	—	

4/ 24(月) 朝礼 生徒会認証式 余裕をもって登校しましょう。ネクタイ、ブレザー着用。

①総合 修学旅行の行動班の係会・修学旅行三日目の行程決め

行動班の係で集まり、仕事内容を確認します。

修学旅行の三日目はクラス行動なので、クラスでどこに行くか決めます。

④学活 議案書討議

各委員会の活動目標、活動内容について確認し討議します。生徒総会に向けて多角的に検討しましょう。

26(水) ⑤ 総合 修学旅行2日目のコース検討

修学旅行の2日目の班行動の行程を検討します。22日に決めた「仮説」に基づいて、見学地を決めていきます。

27(木) ⑥ 宿舎班係会、報告会(終わったらコース検討)

宿舎班の係で集まり、仕事内容等を確認します。

28(金) ⑤ 修学旅行2日目のコース検討

この日までにコース計画の完成を目指し、原案を提出しましょう。計画の進行度によっては、放課後残る場合もあります。

⑥ 離任式

異動された先生方がひばり中に最後の挨拶にいらしてくださいます。

小野先生とお会いできる最大のこの機会に、青学年の成長を見せられるよう臨みましょう。

当日は正装ですので、ブレザー、ネクタイの着用を忘れないようにしましょう。